

第四期帯広市地域福祉計画・
第7期帯広市地域福祉実践計画
策定に向けた市民アンケート調査
結果報告書

帯広市
令和6年3月

市民アンケート調査結果

1. 調査の目的

市民の地域福祉に関する意識や実態を把握し、今後の地域福祉の施策に反映させるため。

2. 調査の内容

- (1) あなたご自身のことについて
- (2) 地域との関わりについて
- (3) あなたや近所の方の生活状況について
- (4) 町内会活動やボランティア活動について
- (5) 地域における支えあいについて
- (6) 生活困窮者支援のあり方について
- (7) 成年後見支援制度について
- (8) 帯広市社会福祉協議会について
- (9) 帯広市の相談支援体制の充実について

3. 調査の方法

- (1) 調査対象 帯広市に住所を有する20歳以上の人 1,000人
- (2) 抽出方法 地区別・男女別・年齢階層別無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による自記式アンケート及びオンラインによるアンケート
- (4) 調査期間 令和5年11月28日～12月28日

4. 回収結果

- (1) 有効発送数 1,000人
- (2) 回収数 自記式353人、オンライン84人、合計437人
- (3) 回収率 43.7%

5. 集計・分析上の注意事項

- (1) 回答率は少数第2位を四捨五入し、少数第1位まで表示しているため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 質問で、「あてはまるもの全て」や「あてはまるもの3つまで」のように複数回答を認めている場合は、その回答率の合計が100.0%を超える場合があります。

6. その他

自由記載欄の回答については、寄せられた意見の中から抜粋して掲載しています。

あなたご自身のことについて

【問1】年齢

区分	回答者数 (人)	割合
20～29歳	32	7.3%
30～39歳	38	8.7%
40～49歳	58	13.3%
50～59歳	61	14.0%
60～69歳	68	15.6%
70～79歳	133	30.4%
80歳以上	46	10.5%
無回答	1	0.2%
計	437	100.0%

【問2】居住地域

区分	回答者数 (人)	割合
東地域	43	9.8%
鉄南地域	38	8.7%
西地域	81	18.5%
川北地域	52	11.9%
広陽・若葉地域	42	9.6%
西帯広・開西地域	58	13.3%
南地域	95	21.7%
川西・大正地域	23	5.3%
無回答	5	1.2%
計	437	100.0%

【問3】家族構成

区分	回答者数 (人)	割合
ひとり暮らし	69	15.8%
夫婦のみ	168	38.4%
兄弟・姉妹のみ	2	0.4%
親・子の二世帯	179	41.0%
親・子・孫の三世帯	10	2.3%
その他	6	1.4%
無回答	3	0.7%
計	437	100.0%

[その他の内容]

施設入所、グループホーム 2、老人ホーム

【問4】同居家族（あてはまるもの全て）

区分	回答数 (件)	割合
乳幼児（小学校入学前のお子さん）	29	5.2%
小学生	39	7.0%
中学生	33	5.9%
高校生	23	4.1%
65歳以上の高齢者	137	24.6%
要介護又は要支援認定を受けている方	26	4.7%
障害のある方	47	8.4%
自宅で病気療養している方	18	3.2%
失業中の方	21	3.8%
いずれにも該当しない（本人・家族とも）	150	26.9%
無回答	34	6.1%

【問5】職業（主なもの1つだけ）

区分	回答者数 (人)	割合
会社員	71	16.2%
会社役員	13	3.0%
自営業	20	4.6%
派遣社員	7	1.6%
農業	8	1.8%
公務員	16	3.7%
団体職員	12	2.7%
パート・アルバイト	75	17.2%
学生	3	0.7%
家事専業	46	10.5%
無職	139	31.8%
その他	18	4.1%
無回答	9	2.1%
計	437	100.0%

[その他の内容]

障害者就労支援事業所 等

【問6】住まい

区分	回答者数 (人)	割合
一戸建て持家	307	70.3%
一戸建て借家	24	5.5%
分譲マンション	5	1.1%
賃貸マンション・アパート	52	11.9%
公営住宅	21	4.8%
下宿・寮	1	0.2%
介護サービス付高齢者住宅	3	0.7%
社宅・官舎	5	1.1%
その他	10	2.3%
無回答	9	2.1%
計	437	100.0%

[その他の内容]

障害者グループホーム 等

地域との関わりについて

【問7】あなたは、近所にお住まいの方とどのようなお付き合いをしていますか。（あてはまるもの全てに○）

区分	回答者数	あいさつや立ち話を する	物をあげたり、 もらったりする	趣味をともにする	お茶や食事を一緒に する	困りごとの相談をし たり、されたりする	病気の時に助け合う	顔は知っているが、 ほぼ付き合いがない	どんな人が住んでい るか知らない	その他	無回答
全体	437	318	185	28	33	33	17	112	40	8	10
	100.0%	72.8%	42.3%	6.4%	7.6%	7.6%	3.9%	25.6%	9.2%	1.8%	2.3%

年齢

20～29歳	32	46.9%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.4%	31.3%	0.0%	0.0%
30～39歳	38	57.9%	34.2%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	31.6%	18.4%	2.6%	2.6%
40～49歳	58	69.0%	50.0%	5.2%	8.6%	1.7%	1.7%	32.8%	10.3%	1.7%	1.7%
50～59歳	61	63.9%	26.2%	1.6%	3.3%	4.9%	3.3%	26.2%	11.5%	4.9%	0.0%
60～69歳	68	73.5%	30.9%	5.9%	5.9%	4.4%	2.9%	32.4%	7.4%	0.0%	1.5%
70～79歳	133	84.2%	55.6%	7.5%	7.5%	15.0%	4.5%	18.8%	3.8%	0.8%	3.8%
80歳以上	46	87.0%	54.3%	17.4%	21.7%	8.7%	13.0%	15.2%	0.0%	4.3%	2.2%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

地域

東地域	43	65.1%	34.9%	4.7%	9.3%	7.0%	2.3%	30.2%	18.6%	2.3%	0.0%
鉄南地域	38	71.1%	31.6%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	26.3%	7.9%	5.3%	5.3%
西地域	81	70.4%	43.2%	2.5%	7.4%	7.4%	2.5%	23.5%	7.4%	2.5%	1.2%
川北地域	52	71.2%	46.2%	9.6%	9.6%	11.5%	7.7%	28.8%	7.7%	1.9%	3.8%
広陽・若葉地域	42	81.0%	40.5%	4.8%	7.1%	7.1%	4.8%	28.6%	4.8%	0.0%	0.0%
西帯広・開西地域	58	70.7%	43.1%	3.4%	3.4%	1.7%	0.0%	27.6%	15.5%	0.0%	1.7%
南地域	95	76.8%	43.2%	8.4%	3.2%	5.3%	3.2%	26.3%	6.3%	2.1%	1.1%
川西・大正地域	23	78.3%	65.2%	21.7%	34.8%	30.4%	13.0%	4.3%	8.7%	0.0%	8.7%
無回答	5	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%

[その他の内容]

あいさつのみ 等

【まとめ】

「あいさつや立ち話をする」が約7割と一番多く、次いで「物をあげたり、もらったりする」が約4割であったが、それ以上の関係は少ないという結果だった。地域別では、同様の結果となっているが、年齢別では、20歳台、50歳台、60歳台において「顔は知っているがほぼ付き合いがない」が2番目に回答が多かった。

前回（平成30年度）の調査と比較すると、全体的にほぼ同様の結果となっている。

【問8】あなたは、近所との付き合いでどのような関係が一番良いと思いますか。
(1つだけに○)

区分	回答者数	え話普 るし段 関た 係り から 協なん 力んで 合も	協何 かしあ 合った る時 関だけ	き挨 合拶 い程 の度 の関 係軽 い付	い交 流は 特に 必要 な	その他	無回答
全体	437	120	116	170	17	3	11
	100.0%	27.5%	26.5%	38.9%	3.9%	0.7%	2.5%
年齢							
20～29歳	32	6.3%	28.1%	53.1%	12.5%	0.0%	0.0%
30～39歳	38	13.2%	42.1%	36.8%	7.9%	0.0%	0.0%
40～49歳	58	15.5%	37.9%	39.7%	1.7%	3.4%	1.7%
50～59歳	61	23.0%	26.2%	42.6%	6.6%	0.0%	1.6%
60～69歳	68	26.5%	27.9%	41.2%	2.9%	0.0%	1.5%
70～79歳	133	37.6%	21.1%	36.8%	0.8%	0.0%	3.8%
80歳以上	46	47.8%	13.0%	28.3%	4.3%	2.2%	4.3%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域							
東地域	43	32.6%	27.9%	30.2%	9.3%	2.3%	0.0%
鉄南地域	38	10.5%	31.6%	50.0%	0.0%	2.6%	5.3%
西地域	81	32.1%	25.9%	37.0%	3.7%	0.0%	2.5%
川北地域	52	23.1%	30.8%	34.6%	5.8%	1.9%	3.8%
広陽・若葉地域	42	21.4%	26.2%	47.6%	4.8%	0.0%	0.0%
西帯広・開西地域	58	20.7%	29.3%	46.6%	3.4%	0.0%	1.7%
南地域	95	31.6%	23.2%	43.2%	2.1%	0.0%	0.0%
川西・大正地域	23	52.2%	26.1%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%
無回答	5	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%

[その他の内容]

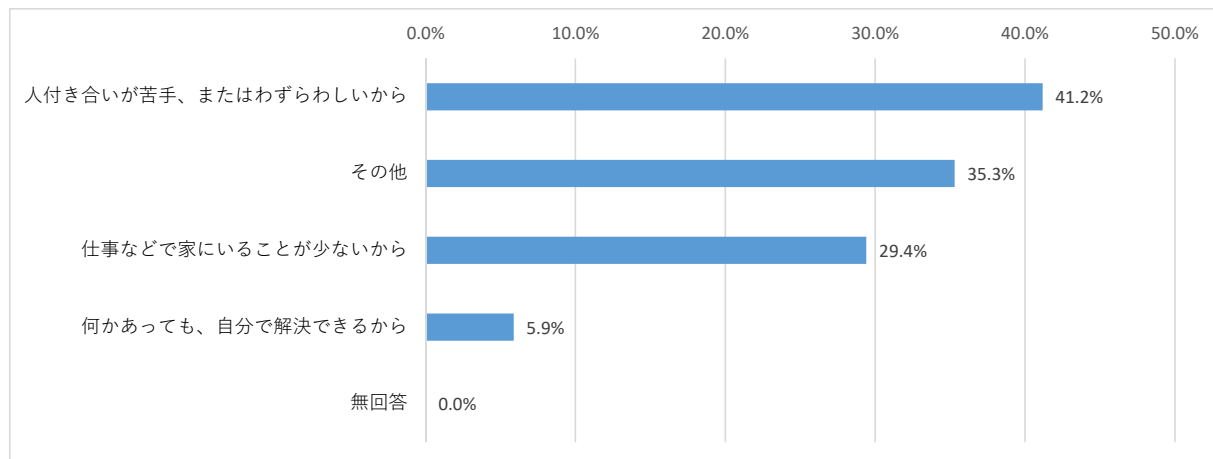
「普段からなんでも話したり協力し合える関係」と「何かあった時だけ協力し合える関係」の間 等

【まとめ】

「挨拶程度の軽い付き合いの関係」が約4割と一番多く、次いで「普段からなんでも話したり協力し合える関係」「何かあった時だけ協力し合える関係」となっている。

年代別では、20歳台から60歳台までが「挨拶程度の軽い付き合いの関係」と「何かあった時だけ協力し合える関係」が多いが、70歳台以上では「普段からなんでも話したり協力し合える関係」が一番多く、4割程度の結果となっており、年齢が高くなると近所の人と普段から協力し合う関係を望まれていることが伺えた。

【問 9】＜問 8 で「4. 交流は特に必要ない」と回答した方に伺います＞
必要ないと思う理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）



【その他の内容】

グループホームに住んでいるため、その他の記載なし

【まとめ】

問 8 で、「交流は特に必要ない」と回答した人は17件、3.9%と少なかったが、その理由としては、「人付き合いが苦手、またはわずらわしいから」が41.2%と一番多かった。

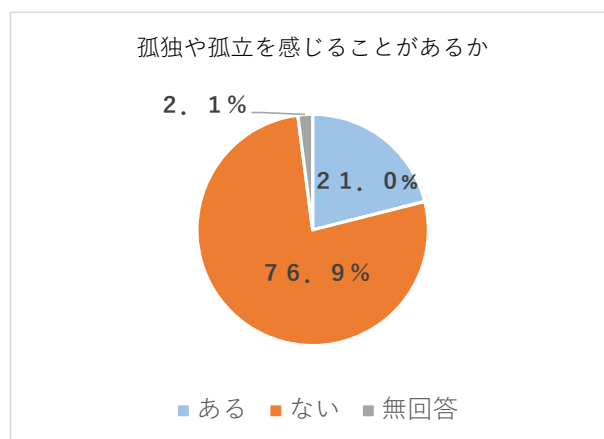
前回（平成30年度）の調査では「何かあっても、自分で解決できるから」とした人が37.5%だったが、今回は5.9%と少ない結果となった。

【問 10】あなたは孤独や孤立を感じることがありますか。（1つだけに○）

区分	回答者数	ある	ない	無回答
全体	437	92	336	9
	100.0%	21.0%	76.9%	2.1%

年齢

年齢	回答者数	ある	ない	無回答
20～29歳	32	18.8%	78.1%	3.1%
30～39歳	38	13.2%	86.8%	0.0%
40～49歳	58	15.5%	82.8%	1.7%
50～59歳	61	27.9%	72.1%	0.0%
60～69歳	68	19.1%	79.4%	1.5%
70～79歳	133	18.8%	77.4%	3.8%
80歳以上	46	37.0%	63.0%	0.0%
無回答	1	0.0%	0.0%	100.0%



【まとめ】

孤独や孤立を感じることが「ある」人が約2割おり、80歳台が37.0%、次いで50歳台が27.9%の順で多い結果となっている。

あなたや近所の方の生活状況について

【問 1 1】あなたは、日常生活や医療・福祉のことで困っていること、不安なことはありますか。

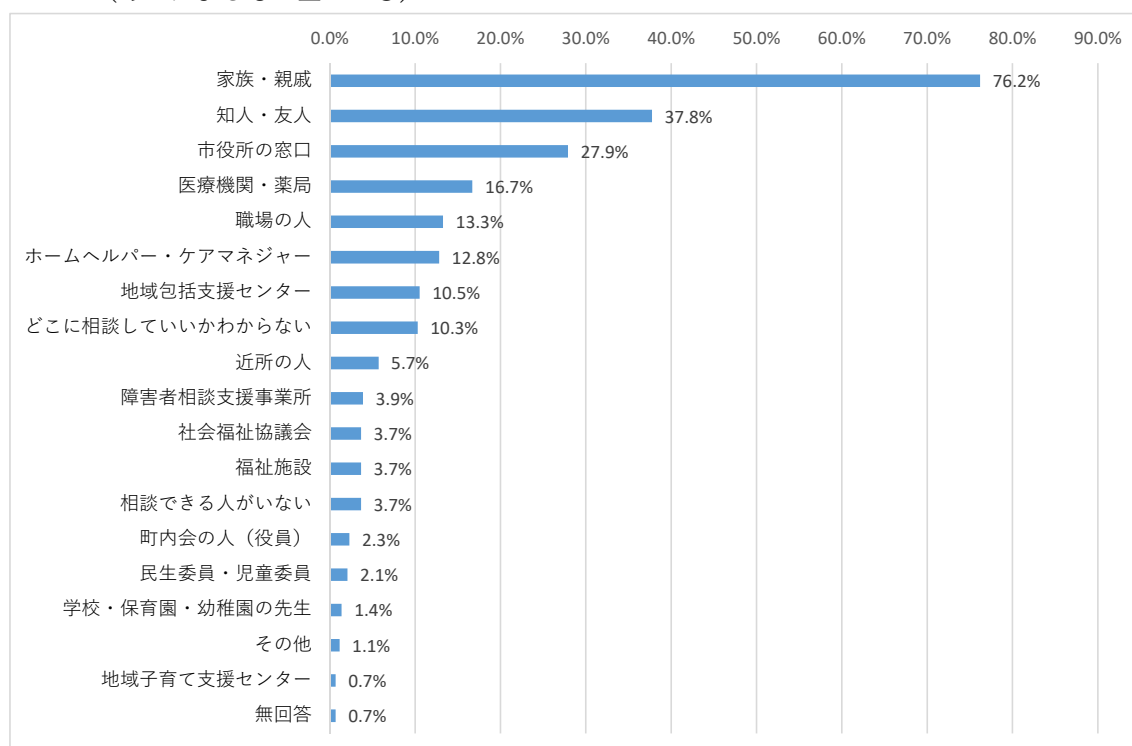
(あてはまるもの全てに○)

区分	回答者数	自分の健康に関すること	介護に関すること	仕事に関すること	人間関係に関すること	生きがい、将来に関すること	住まいに関すること	収入や家計に関すること	親や子どもに関すること	災害に関すること	買物や通院に関すること	家族のひきこもりに関すること	防犯に関すること	特にない	その他	無回答
全体	437	210	108	65	47	92	40	157	77	64	61	10	59	96	9	8
	100.0%	48.1%	24.7%	14.9%	10.8%	21.1%	9.2%	35.9%	17.6%	14.6%	14.0%	2.3%	13.5%	22.0%	2.1%	1.8%
年齢																
20～29歳	32	21.9%	6.3%	18.8%	9.4%	18.8%	18.8%	37.5%	25.0%	18.8%	6.3%	0.0%	25.0%	18.8%	3.1%	0.0%
30～39歳	38	26.3%	10.5%	26.3%	10.5%	18.4%	5.3%	44.7%	23.7%	10.5%	7.9%	0.0%	18.4%	31.6%	2.6%	2.6%
40～49歳	58	27.6%	15.5%	29.3%	15.5%	34.5%	24.1%	53.4%	44.8%	17.2%	8.6%	6.9%	17.2%	22.4%	0.0%	0.0%
50～59歳	61	44.3%	27.9%	26.2%	14.8%	23.0%	11.5%	42.6%	24.6%	6.6%	4.9%	4.9%	13.1%	18.0%	0.0%	3.3%
60～69歳	68	48.5%	26.5%	16.2%	7.4%	19.1%	4.4%	30.9%	17.6%	22.1%	8.8%	0.0%	11.8%	26.5%	1.5%	2.9%
70～79歳	133	66.2%	30.8%	3.8%	10.5%	21.8%	6.0%	31.6%	4.5%	14.3%	21.1%	0.8%	9.8%	18.8%	3.8%	0.8%
80歳以上	46	63.0%	37.0%	0.0%	6.5%	6.5%	0.0%	17.4%	2.2%	13.0%	30.4%	4.3%	10.9%	23.9%	2.2%	2.2%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域																
東地域	43	60.5%	34.9%	18.6%	4.7%	25.6%	2.3%	39.5%	7.0%	20.9%	14.0%	4.7%	18.6%	20.9%	4.7%	0.0%
鉄南地域	38	39.5%	23.7%	15.8%	10.5%	15.8%	10.5%	39.5%	15.8%	13.2%	7.9%	0.0%	13.2%	23.7%	0.0%	2.6%
西地域	81	56.8%	30.9%	17.3%	21.0%	22.2%	16.0%	42.0%	18.5%	13.6%	17.3%	3.7%	13.6%	21.0%	0.0%	0.0%
川北地域	52	46.2%	21.2%	9.6%	1.9%	28.8%	17.3%	36.5%	23.1%	11.5%	9.6%	3.8%	7.7%	25.0%	1.9%	0.0%
広陽・若葉地域	42	45.2%	19.0%	14.3%	9.5%	14.3%	9.5%	47.6%	26.2%	11.9%	9.5%	0.0%	14.3%	23.8%	4.8%	2.4%
西帯広・開西地域	58	51.7%	27.6%	15.5%	5.2%	19.0%	3.4%	32.8%	8.6%	12.1%	15.5%	3.4%	10.3%	20.7%	0.0%	1.7%
南地域	95	41.1%	16.8%	11.6%	11.6%	20.0%	5.3%	27.4%	18.9%	14.7%	13.7%	1.1%	16.8%	22.1%	3.2%	1.1%
川西・大正地域	23	47.8%	30.4%	26.1%	21.7%	26.1%	8.7%	30.4%	30.4%	26.1%	26.1%	0.0%	13.0%	21.7%	4.3%	8.7%
無回答	5	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
家族構成																
ひとり暮らし	69	55.1%	21.7%	11.6%	10.1%	17.4%	7.2%	33.3%	8.7%	20.3%	21.7%	0.0%	11.6%	26.1%	1.4%	0.0%
夫婦のみ	168	56.0%	32.7%	9.5%	10.7%	24.4%	7.1%	26.8%	8.9%	14.3%	16.7%	0.6%	10.7%	22.0%	2.4%	1.8%
兄弟・姉妹のみ	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
親・子の二世帯	179	38.5%	18.4%	21.8%	11.2%	19.0%	11.2%	45.8%	29.1%	12.8%	10.1%	4.5%	16.8%	20.7%	1.1%	1.7%
親・子・孫の三世帯	10	50.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%
その他	6	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%

【まとめ】

「自分の健康に関すること」が一番多く、次いで「収入や家計に関すること」「介護に関すること」となっている。年代別では、20歳台から40歳台までが「収入や家計に関すること」が一番多く、20歳台は「親や子どもに関すること」「防犯に関すること」、30歳台は「特にない」、40歳台は「親や子どもに関すること」が2番目に多くなっている。50歳台以上になると「自分の健康に関すること」が1番となり、50歳台から70歳台は「収入や家計に関すること」が2番目に多く、80歳台になると「介護に関すること」が2番目に多い結果となった。

【問 1 2】あなたは、日常生活や医療・福祉のことで困ったとき、誰に相談したいですか。
(あてはまるもの全てに○)



【まとめ】

「家族・親戚」が76.2%と一番多く、次いで「知人・友人」「市役所の窓口」となっている。どこに相談していいかわからない人が10.3%、相談できる人がいない人も3.7%いることから、このような人が困った時に、どのように支援につなげるかが課題となっている。

【問 1 3】近所に日常生活や医療・福祉のことで困っていそうな方はいらっしゃいますか。

(1つだけに○)

区分	回答者数	近所に いることを 知っている	直接、本人 は知らないが、 話に聞いている	わからない	その他	無回答
全体	437	26	17	379	9	6
	100.0%	5.9%	3.9%	86.7%	2.1%	1.4%

年齢

20～29歳	32	6.3%	3.1%	87.5%	3.1%	0.0%
30～39歳	38	2.6%	2.6%	94.7%	0.0%	0.0%
40～49歳	58	1.7%	3.4%	94.8%	0.0%	0.0%
50～59歳	61	1.6%	4.9%	91.8%	1.6%	0.0%
60～69歳	68	2.9%	2.9%	94.1%	0.0%	0.0%
70～79歳	133	10.5%	4.5%	81.2%	3.0%	0.8%
80歳以上	46	10.9%	4.3%	69.6%	6.5%	8.7%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

地域

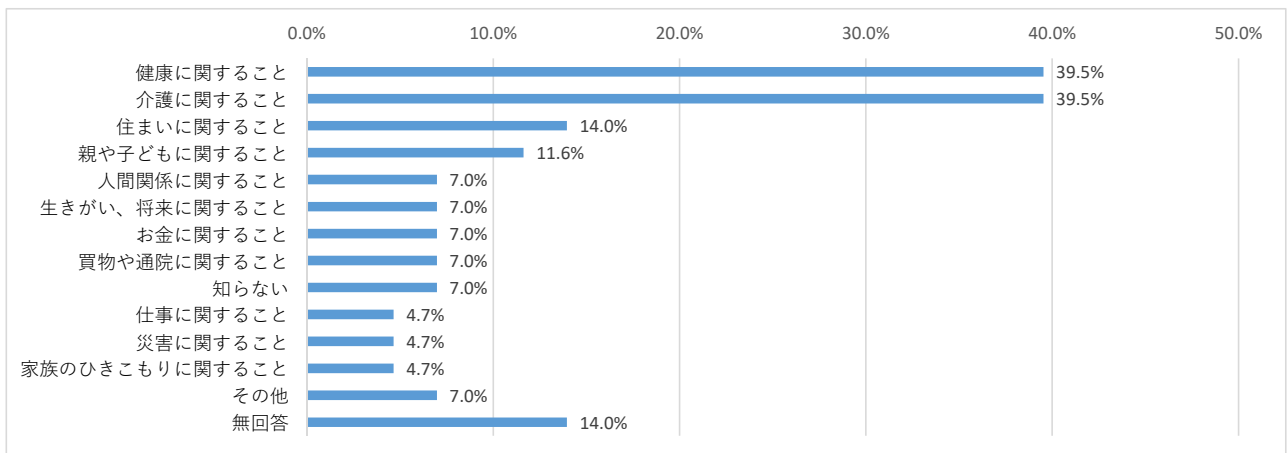
東地域	43	4.7%	2.3%	88.4%	2.3%	2.3%
鉄南地域	38	0.0%	5.3%	89.5%	2.6%	2.6%
西地域	81	8.6%	7.4%	82.7%	1.2%	0.0%
川北地域	52	7.7%	1.9%	86.5%	1.9%	1.9%
広陽・若葉地域	42	7.1%	0.0%	92.9%	0.0%	0.0%
西帯広・開西地域	58	0.0%	1.7%	98.3%	0.0%	0.0%
南地域	95	7.4%	3.2%	84.2%	4.2%	1.1%
川西・大正地域	23	13.0%	13.0%	69.6%	4.3%	0.0%
無回答	5	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%

【まとめ】

ほとんどの人が「わからない」と回答しており、「近所にいることを知っている」「直接、本人は知らないが、話に聞いている」と回答した人は合わせて9.8%だった。

前回（平成30年度）の調査と比較すると、「わからない」と回答した人は81.2%から86.7%に増加し、「近所にいることを知っている」「直接、本人は知らないが、話に聞いている」と回答した人は、13.7%から9.8%に減少しており、近所の人との関係性の希薄さが進行していることが伺える。

【問 1 4】<問 1 3で「1. 近所にいることを知っている」「2. 直接本人は知らないが、話しに聞いている」と回答した方に伺います>
その方はどのようなことで困っているかご存じですか。（あてはまるもの全てに○）

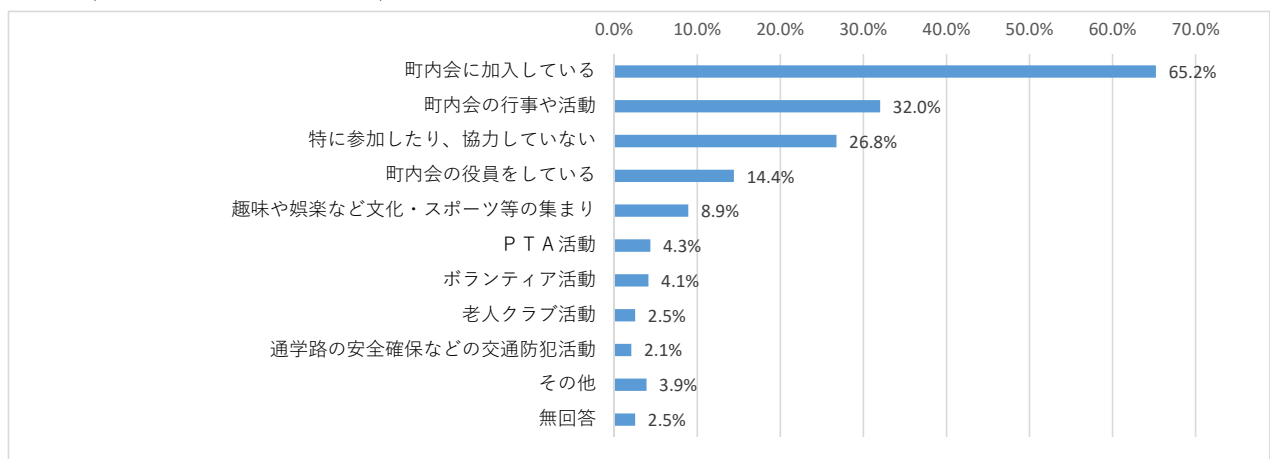


【まとめ】

「健康に関すること」「介護に関すること」と回答した人が約4割と一番多い結果だった。

町内会活動やボランティア活動について

【問 1 5】あなたは、地域のどのような活動に参加したり、協力したりしていますか。
（あてはまるもの全てに○）

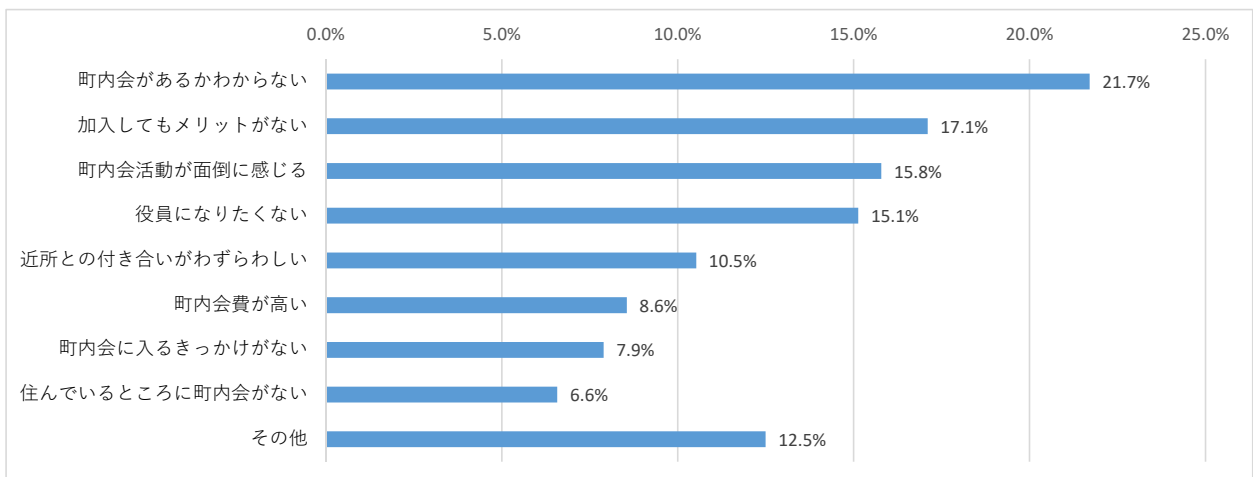


【まとめ】

「町内会に加入している」人が65.2%と一番多く、次いで「町内会の行事や活動」となっている。一方、「特に参加したり、協力していない」人も26.8%いる結果となった。

【問 1 6】<問 1 5 で「2. 町内会に加入している」に○をつけなかった方に伺います。

町内会に加入していない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）



[その他の内容]

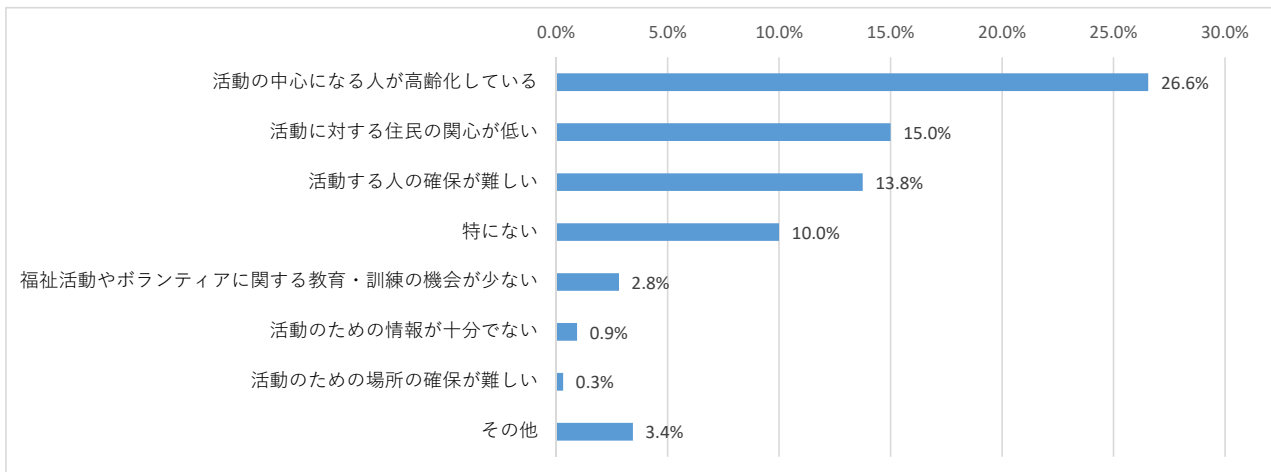
町内会の活動に参加できないため、健康上参加できないため 等

【結果】

「町内会があるかわからない」が約2割と一番多く、次いで「加入してもメリットがない」となっている。「町内会活動が面倒に感じる」「役員になりたくない」といった町内会活動を負担に感じる人は、それぞれ15%程度いる結果となった。

【問 1 7】<問 1 5 で「9. 特に参加したり、協力してない」に○をつけなかった方に伺います。>

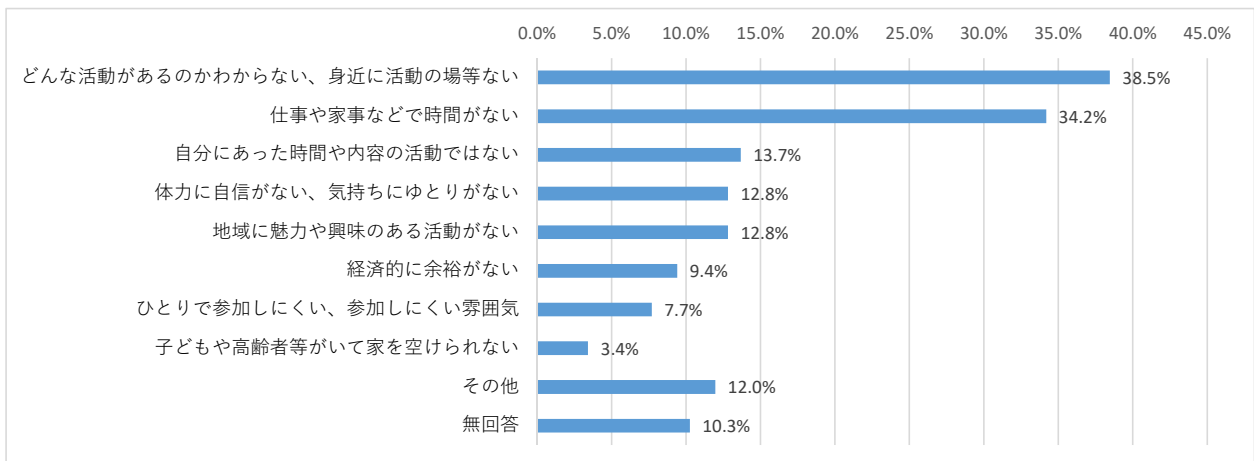
地域活動に参加している中で感じている問題点がありますか。（あてはまるもの全てに○）



【結果】

「活動の中心となる人が高齢化している」が26.6%で一番多く、次いで「活動に対する住民の関心が低い」「活動する人の確保が難しい」となっており、若い世代の人材確保が課題となっている。

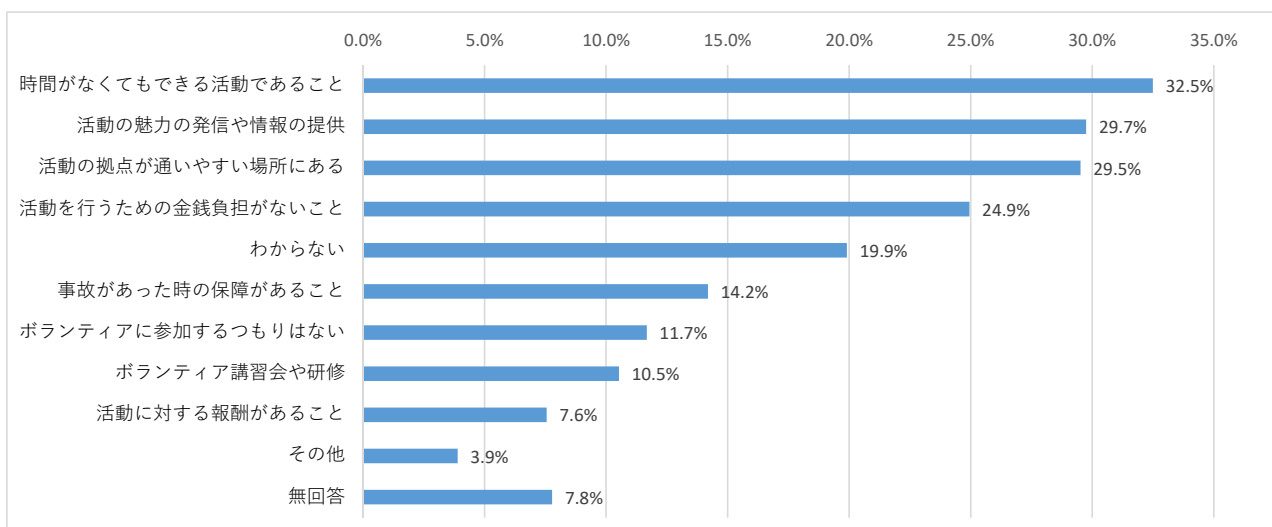
【問18】 <問15で「9. 特に参加したり、協力してない」にと回答した方に伺います。>
 あなたが参加していない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「どんな活動があるのかわからない、身近に活動の場等がない」が38.5%と一番多く、活動内容の周知に課題があることが伺える。

【問19】 あなたがボランティアに参加するために、どのようなことが必要ですか。
 （あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「時間がなくてもできる活動であること」が約3割と一番多く、次いで「活動の魅力の発信や情報の提供があること」「活動の拠点が通いやすい場所にあること」という結果だった。

活動の負担が少なく、活動内容についての情報発信があることが、活動への参加促進につながるものと考えられる。

地域における支えあいについて

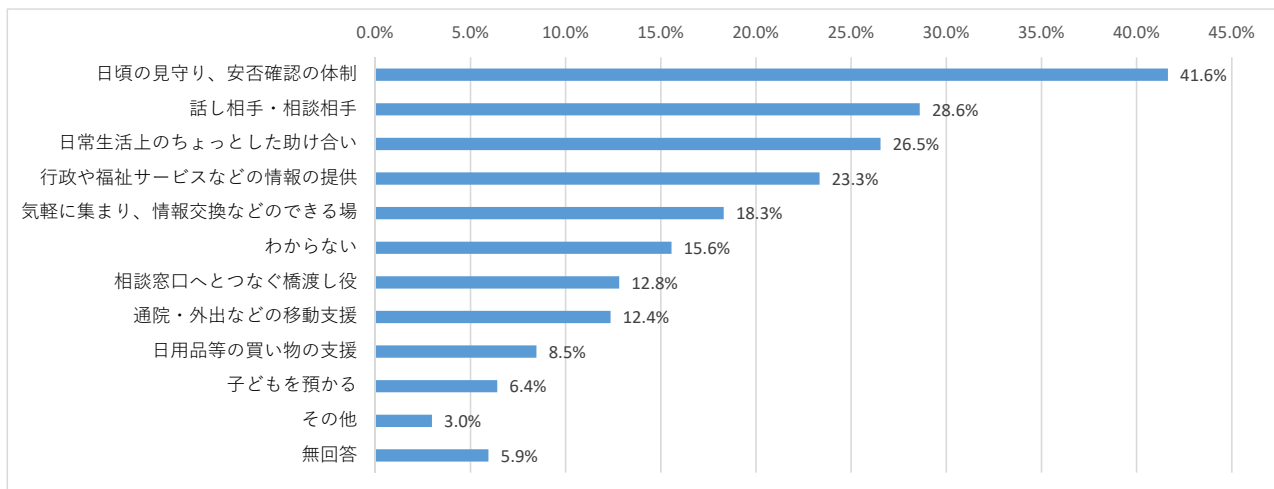
【問 2 0】 地域にお住まいの何等かの支援を必要としている方（1人暮らしの高齢者、介護をしている家族、子育て中の家族等）への支援や協力について、あなたの考え方に最も近いものは何ですか。（1つだけに○）

区分	回答者数	地域に住む者としてできる範囲で支援したい	支援をしたいが、何をすればいいかわからない	支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	支援は市役所等がするもので、近所の者がしなくてもよい	余計なお世話になってしまいうので、支援はしな	わからない	その他	無回答
全体	437	88	57	149	11	40	45	13	34
	100.0%	20.1%	13.0%	34.1%	2.5%	9.2%	10.3%	3.0%	7.8%
年齢									
20～29歳	32	18.8%	15.6%	25.0%	3.1%	9.4%	12.5%	6.3%	9.4%
30～39歳	38	15.8%	13.2%	47.4%	2.6%	10.5%	7.9%	2.6%	0.0%
40～49歳	58	15.5%	12.1%	39.7%	3.4%	6.9%	15.5%	3.4%	3.4%
50～59歳	61	19.7%	9.8%	41.0%	6.6%	8.2%	6.6%	0.0%	8.2%
60～69歳	68	14.7%	19.1%	35.3%	1.5%	11.8%	11.8%	1.5%	4.4%
70～79歳	133	23.3%	15.8%	28.6%	0.8%	9.8%	6.8%	3.0%	12.0%
80歳以上	46	30.4%	0.0%	28.3%	2.2%	6.5%	17.4%	6.5%	8.7%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域									
東地域	43	16.3%	11.6%	37.2%	2.3%	9.3%	16.3%	7.0%	0.0%
鉄南地域	38	28.9%	5.3%	36.8%	0.0%	5.3%	7.9%	5.3%	10.5%
西地域	81	12.3%	16.0%	39.5%	2.5%	8.6%	9.9%	3.7%	7.4%
川北地域	52	19.2%	13.5%	34.6%	0.0%	11.5%	11.5%	1.9%	7.7%
広陽・若葉地域	42	14.3%	9.5%	21.4%	7.1%	16.7%	16.7%	2.4%	11.9%
西帯広・開西地域	58	20.7%	19.0%	41.4%	1.7%	6.9%	8.6%	0.0%	1.7%
南地域	95	24.2%	13.7%	30.5%	4.2%	8.4%	7.4%	3.2%	8.4%
川西・大正地域	23	34.8%	8.7%	26.1%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	17.4%
無回答	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%

【結果】

「支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない」が34.1%で一番多いが、次いで「地域に住む者としてできる範囲で支援したい」「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」となっており、自分のできる範囲で支援したい、支援したいがわからないと思われる人も3割いることが伺える。こうした人達を実際の支援につなげていくことが課題となっている。

【問 2 1】 あなたの地域の支えあいとして、どのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）



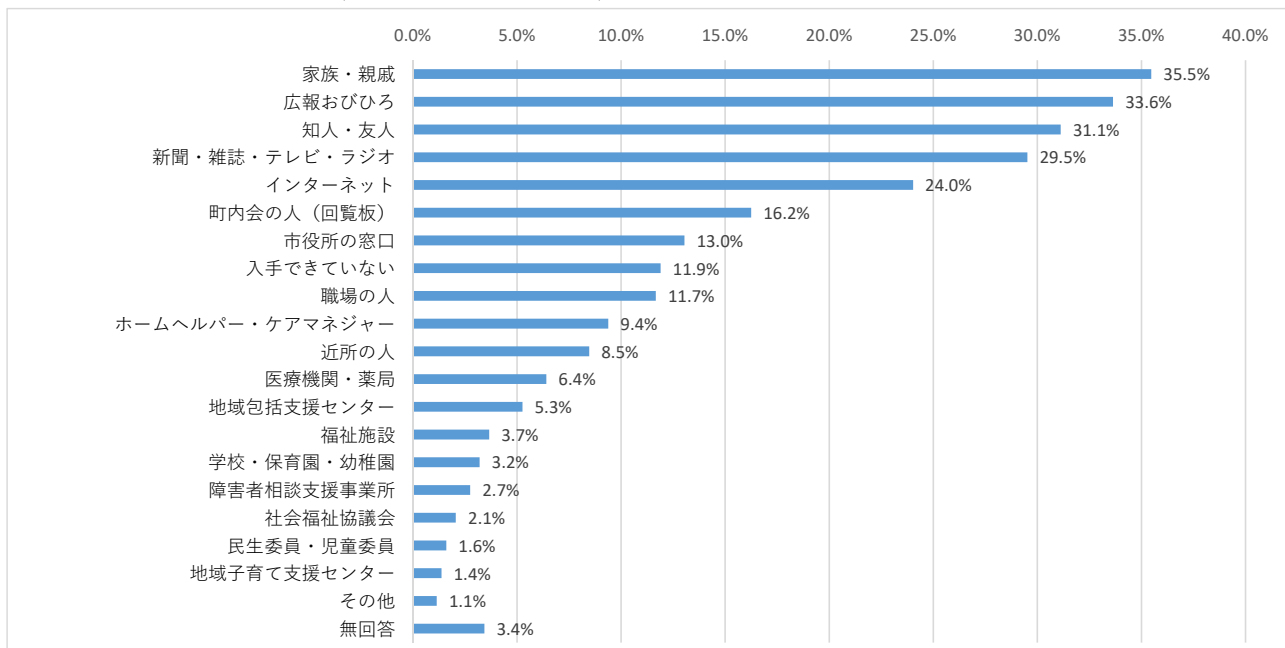
[その他の内容]

灯油缶（ポリ缶）配達、除雪・草刈り 等

【まとめ】

「日頃の見守り、安否確認の体制」が約4割と一番多く、次いで「話し相手・相談相手」「日常生活上のちょっとした助け合い」の順に多い結果となった。

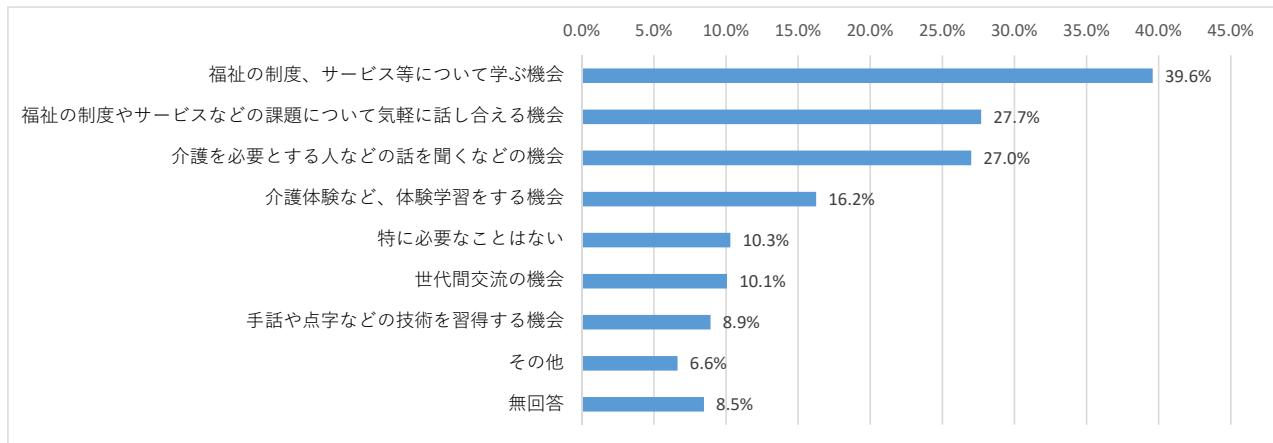
【問 2 2】 あなたは、福祉に関すること（福祉サービスや福祉施設のことなど）について必要な情報は、どこから入手していますか。（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「家族・親戚」が35.5%と一番多く、次いで「広報おびひろ」「知人・友人」となっている。前回（平成30年度）の調査では、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどのメディアで入手する人が最も多く37.8%だったが、今回は29.5%まで減少している。「家族・親戚」が28.1%から35.5%まで増加し、「インターネット」は22.0%から24.0%と微増という結果だった。

【問２３】あなたは、市民が「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。
（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

福祉の制度、サービス等について学んだり、気軽に話し合える機会が必要と回答した人が多く、前回（平成30年度）の調査と同様の結果となっている。

生活困窮者支援のあり方について

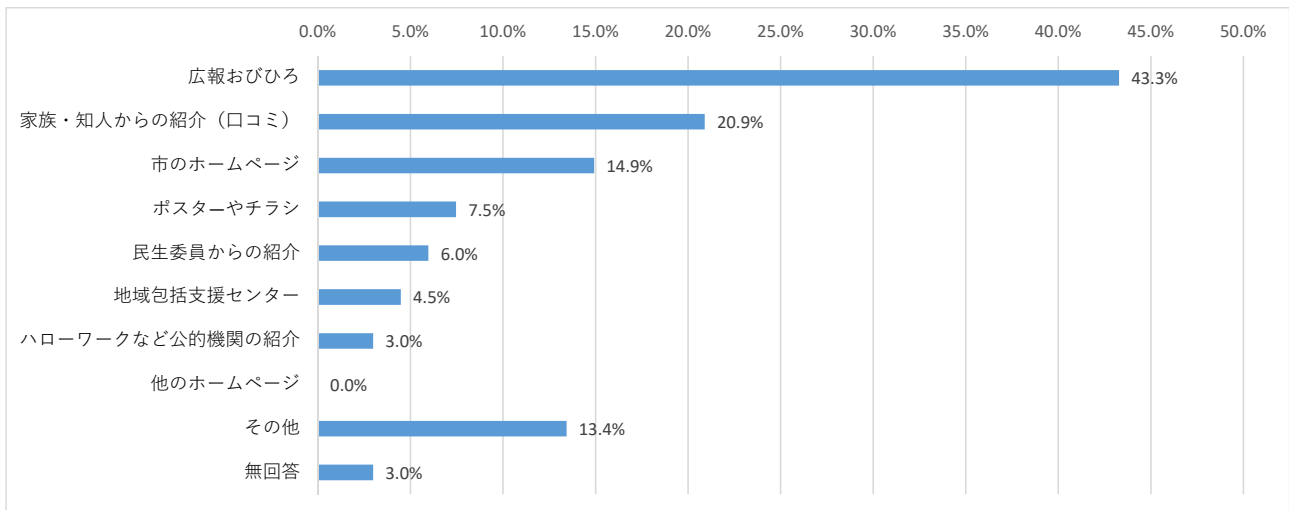
【問２４】あなたは、生活困窮者の相談窓口である、帯広市自立相談支援センター「ふらっと」を知っていますか。（１つだけに○）

区分	回答者数	割合
知っており、問合せ等をしたことがある	5	1.1%
知っている	62	14.2%
知らない	361	82.6%
無回答	9	2.1%
計	437	100.0%

【まとめ】

「知らない」と回答した人が8割を超えており、前回（平成30年度）の調査と同様の結果となっている。

【問25】＜問24で「1. 知っており、問合せ等をしたことがある」または、「2. 知っている」と回答した方に伺います。「ふらっと」のことはどのように知りましたか。（あてはまるもの全てに○）



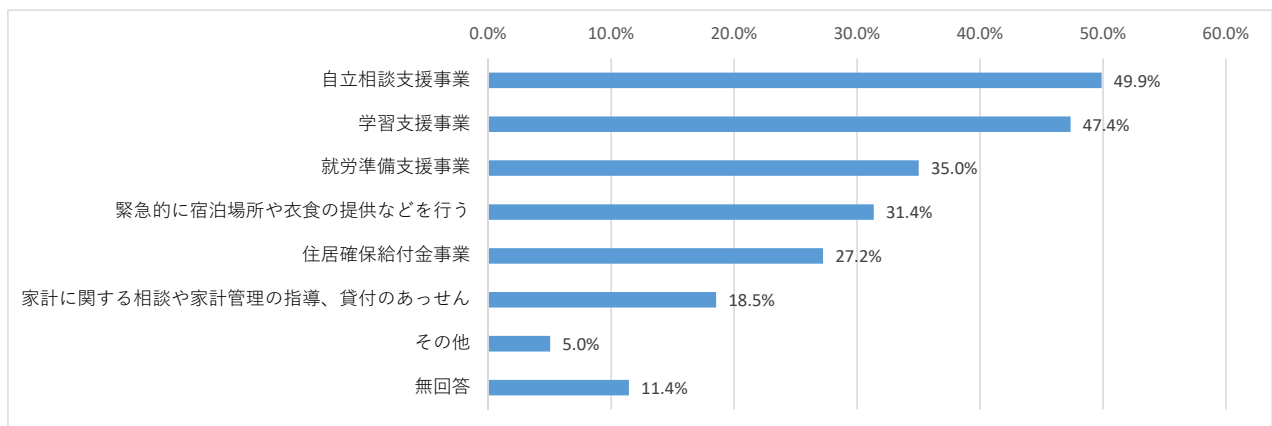
[その他の内容]

スーパーの掲示板、ボランティア活動 等

【まとめ】

「広報おびひろ」が43.3%と一番多く、次いで「家族・知人からの紹介（口コミ）」、「市のホームページ」という結果だった。前回（平成30年度）の調査と比較すると、「広報おびひろ」が74.6%から43.3%に減少し、「家族・知人からの紹介（口コミ）」は7.9%から20.9%へ、「市のホームページ」も6.3%から14.9%に増加していた。様々な媒体による周知が今後も必要である。

【問26】生活困窮者支援制度として、以下の1～6がありますが、あなたはどのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）



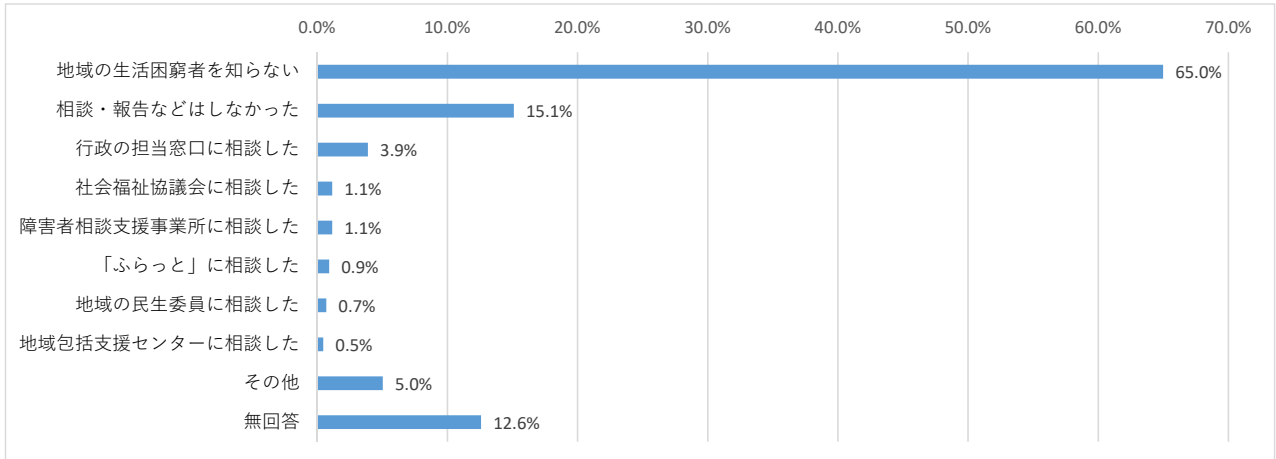
[その他の内容]

分からない、少しでも働ける人に即払いきる仕事の提供 等

【まとめ】

「自立相談支援事業」「学習支援事業」が多く、次いで「就労準備支援事業」となっており、前回（平成30年度）の調査と同様の結果となっている。

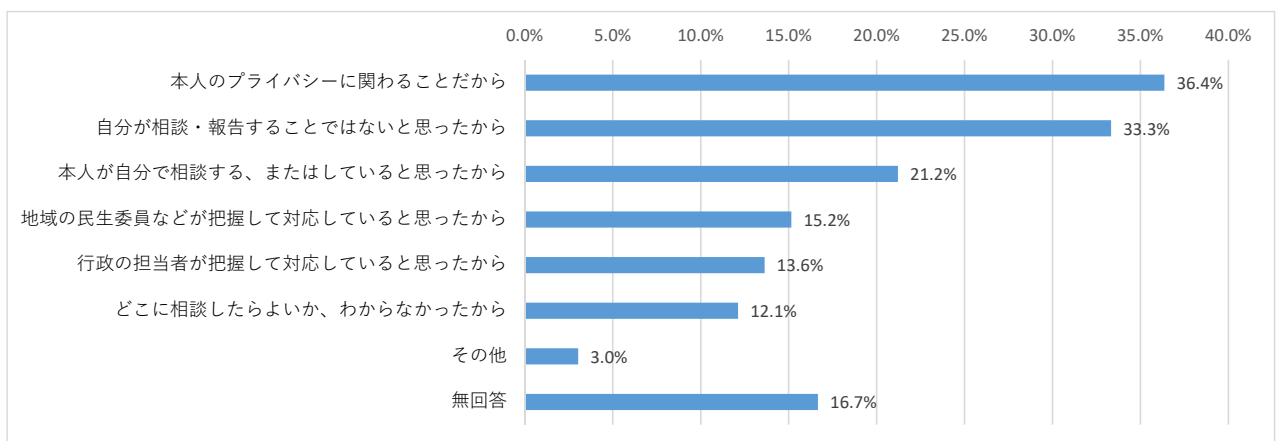
【問 2 7】あなたは、地域の中の「生活困窮者」について、行政機関などに相談したことはありますか。
（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「生活困窮者を知らない」が65.0%と一番多く、次いで「相談・報告などはしなかった」となっており、前回（平成30年度）の調査と同様の結果となっている。

【問 2 8】<問 2 7で「7. 相談・報告などはしなかった」と回答した方に伺います>その理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）



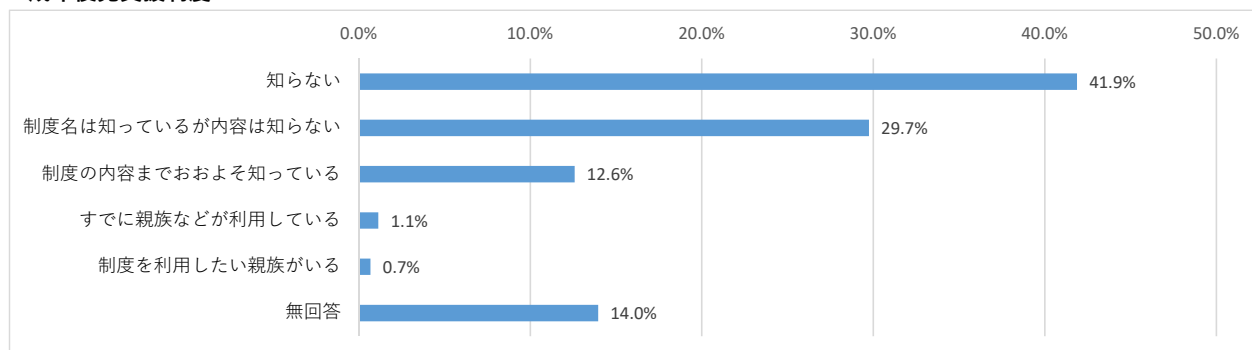
【まとめ】

「本人のプライバシーに関わることだから」が36.4%と一番多く、次いで「自分が相談・報告することではないと思ったから」が33.3%となっている。どこまで踏み込んでいいのかわからない人が多いと思われる結果となっている。

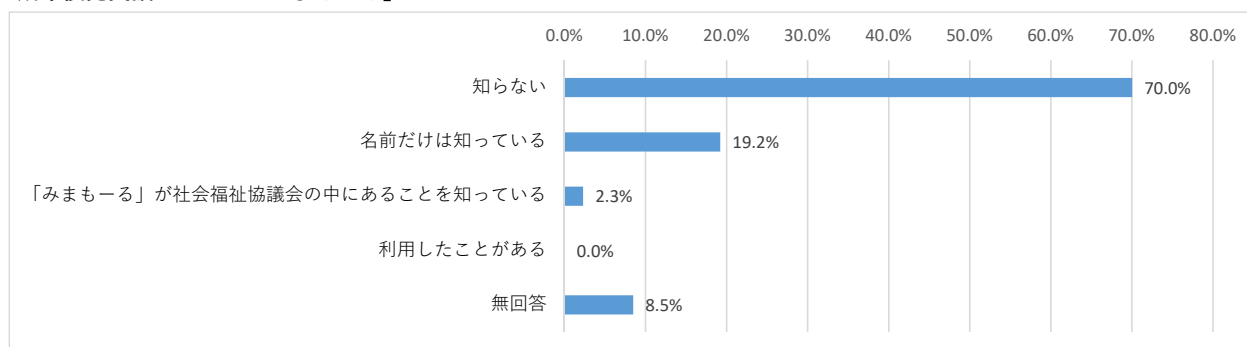
成年後見支援制度について

【問 2 9】あなたは、認知症などにより判断能力が衰えた際に利用できる成年後見支援制度や成年後見支援センター「みまもーる」を知っていますか。（それぞれ1つだけに○）

□成年後見支援制度



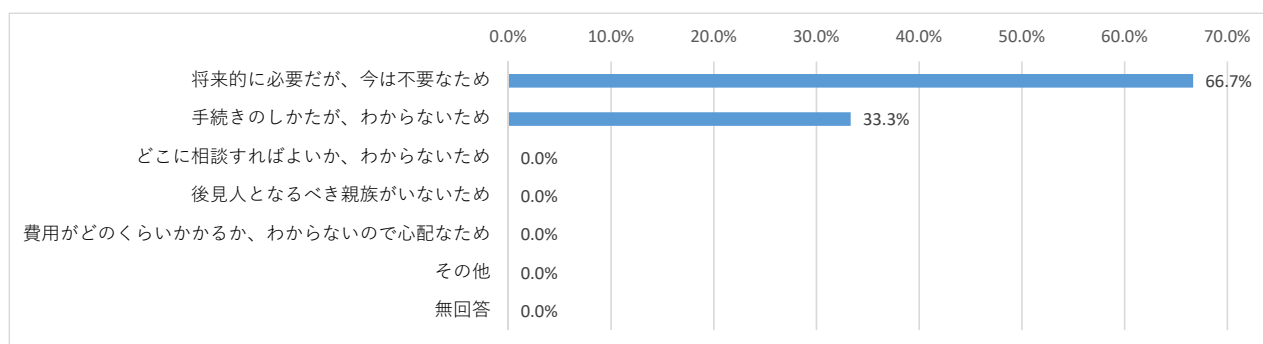
□成年後見支援センター「みまもーる」



【まとめ】

成年後見支援制度の名称や内容、成年後見支援センター「みまもーる」を知らないと回答した人が約7割となっており、それぞれの周知が課題となっている。

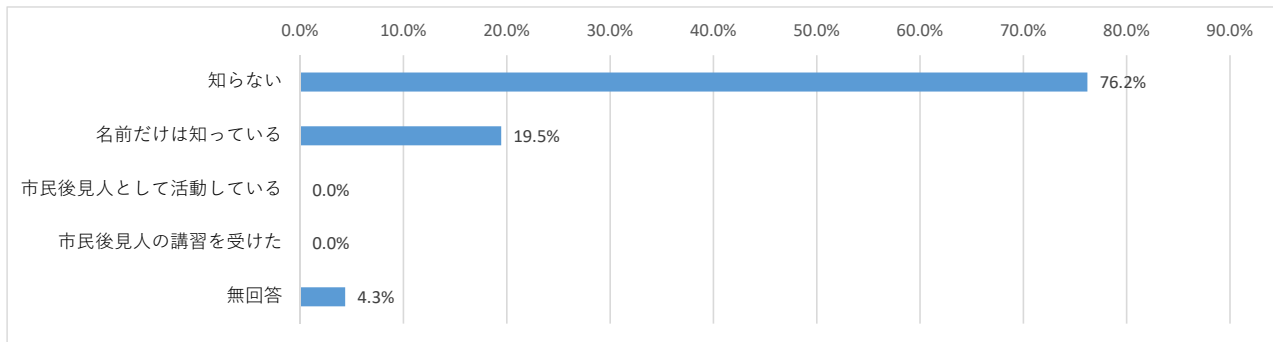
【問 3 0】＜問 2 9 で「2. 制度を利用したい親族がいる」と回答した方に伺います＞
後見制度を利用していない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

制度を利用したい親族がいると回答した3名中、「手続きのしかたが、わからない」と答えられた人もいることから、制度の周知の必要性が伺われる。

【問 3 1】 市民が後見人として活躍できる市民後見人を知っていますか。（1つだけに○）

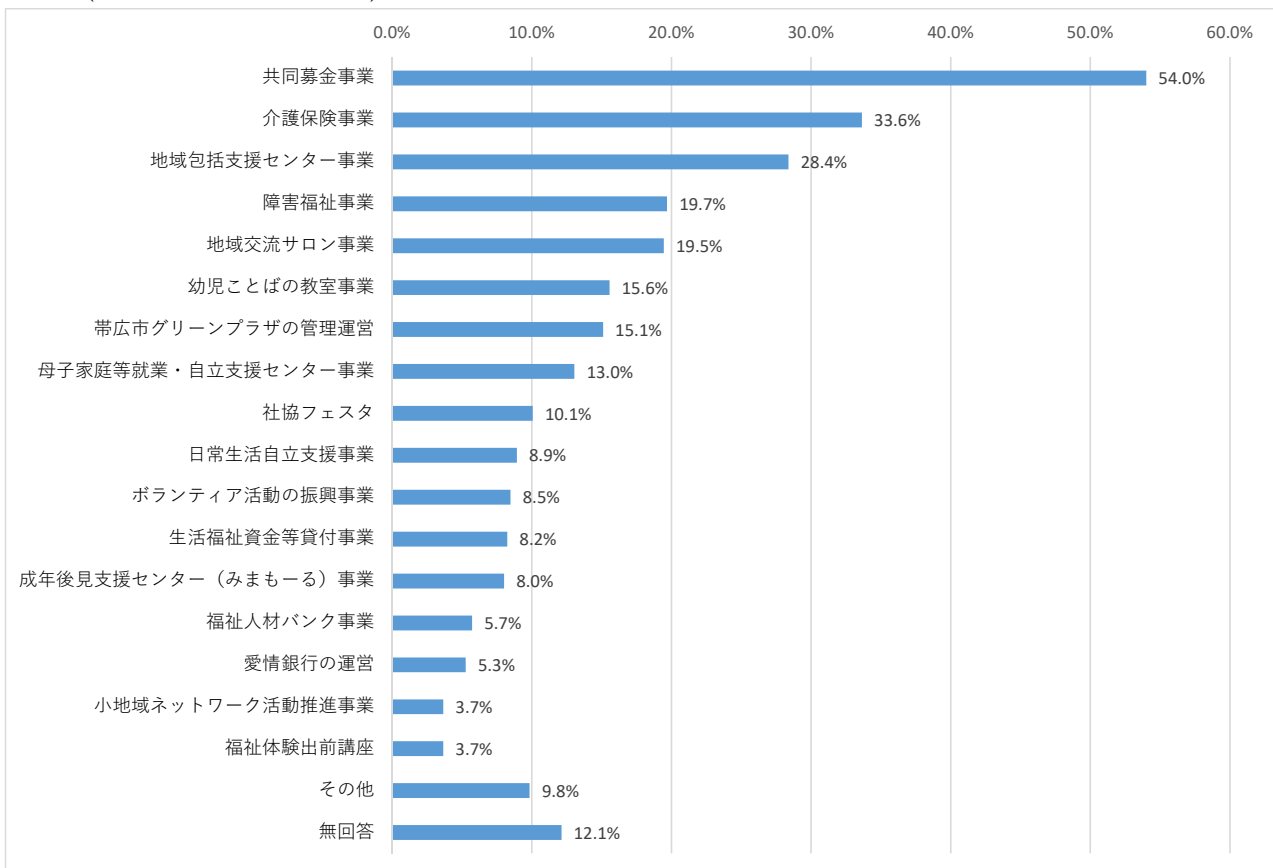


【まとめ】

知らないと回答した人が7割を超えており、更なる周知が必要である。

帯広市社会福祉協議会について

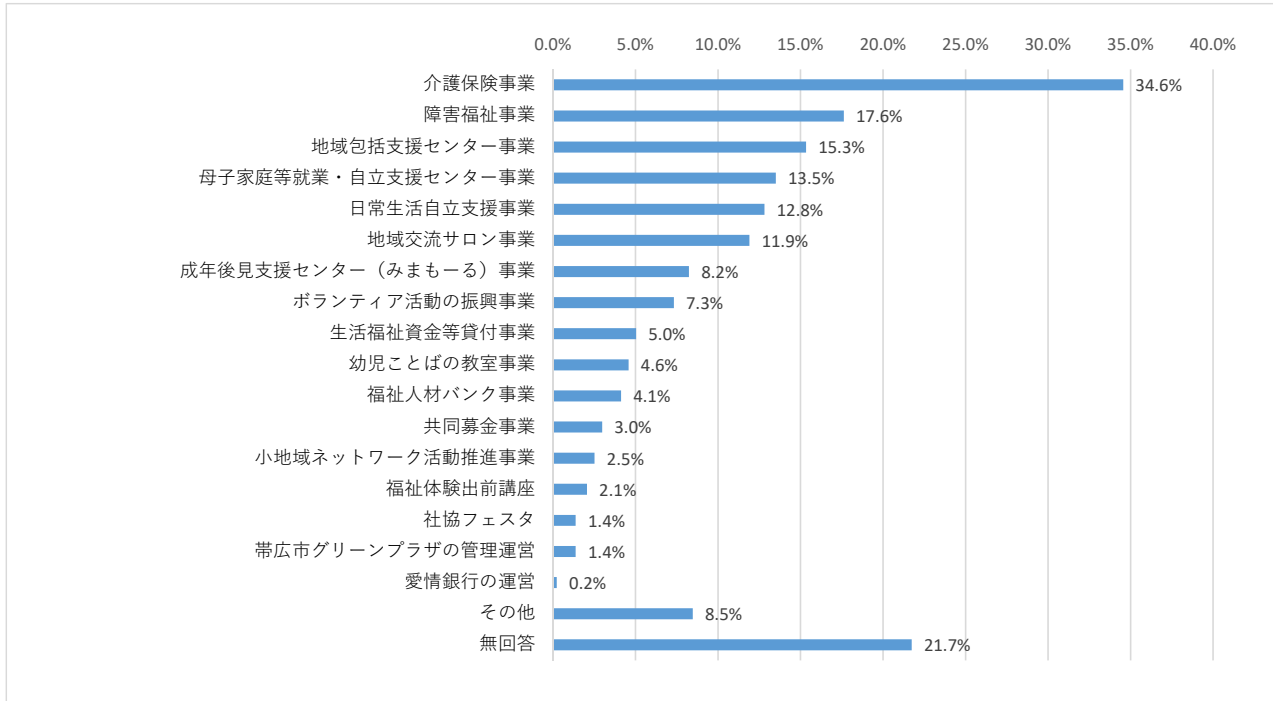
【問 3 2】 帯広市社会福祉協議会が行う以下の事業のうち、あなたが知っている事業は何ですか。（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「共同募金事業」が54.0%と一番多く、次いで介護保険事業、地域包括支援センター事業となっている。以下の各事業については2割に満たない結果となっており、市民が社会福祉協議会の事業について、情報を得られていない結果となっている。

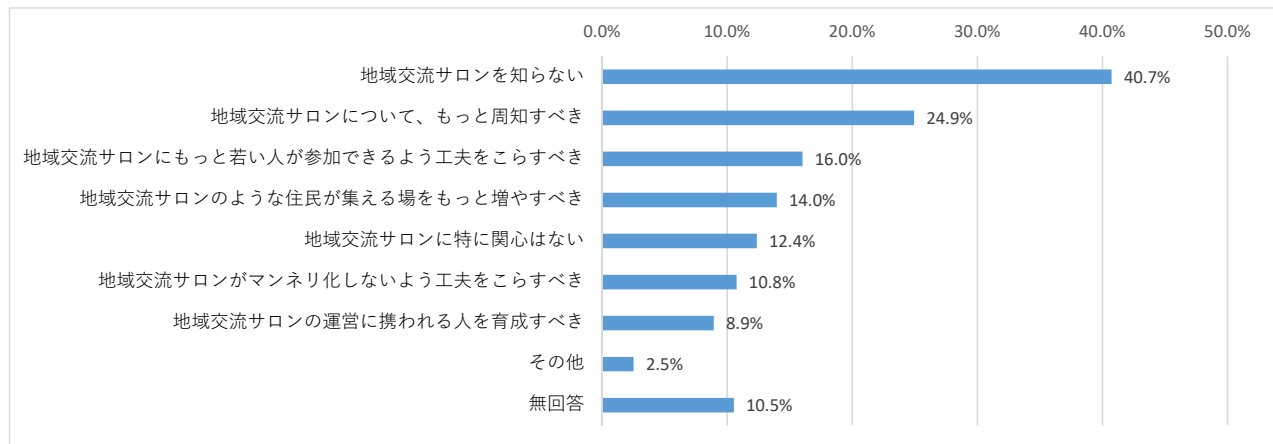
【問 3 3】 問 3 2 のうち、あなたがこれから力を入れてほしいと思う事業は何ですか。
(あてはまるもの 3 つまで○)



【まとめ】

「介護保険事業」が34.6%と一番多く、次いで障害福祉事業、地域包括支援センター事業となっており、高齢者や障害者への支援に力を入れることを望まれていることが伺える。

【問 3 4】 地域交流サロンについて、どう思いますか。（あてはまるもの全てに○）



【まとめ】

「地域交流サロンを知らない」が40.7%と一番多く、次いで「地域交流サロンについて、もっと周知すべき」となっており、更なる周知を図っていく必要がある。

【問３５】地域福祉活動について、自らも何かボランティア活動したいと思うものはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

区分	回答者数	地域で住民が集うサロンや町内会などの小地	こども食堂や地域食堂	ひと暮らしの高齢者宅などの冬期間の家の前の除雪や草取りなど	買物支援や外出時の付き添い	自然災害に見舞われた地域の復旧支援などの災害ボランティア	ボランティア活動をしたとは思わない	その他	無回答
全体	437	54	82	69	38	66	81	34	115
	100.0%	12.4%	18.8%	15.8%	8.7%	15.1%	18.5%	7.8%	26.3%

年齢

20～29歳	32	6.3%	43.8%	28.1%	9.4%	25.0%	25.0%	15.6%	9.4%
30～39歳	38	10.5%	36.8%	15.8%	10.5%	21.1%	18.4%	10.5%	10.5%
40～49歳	58	10.3%	29.3%	19.0%	10.3%	27.6%	27.6%	10.3%	8.6%
50～59歳	61	8.2%	18.0%	8.2%	14.8%	19.7%	32.8%	3.3%	19.7%
60～69歳	68	14.7%	20.6%	20.6%	7.4%	13.2%	13.2%	8.8%	22.1%
70～79歳	133	18.0%	6.8%	14.3%	6.8%	6.8%	15.0%	5.3%	35.3%
80歳以上	46	6.5%	6.5%	10.9%	4.3%	8.7%	2.2%	8.7%	63.0%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

地域

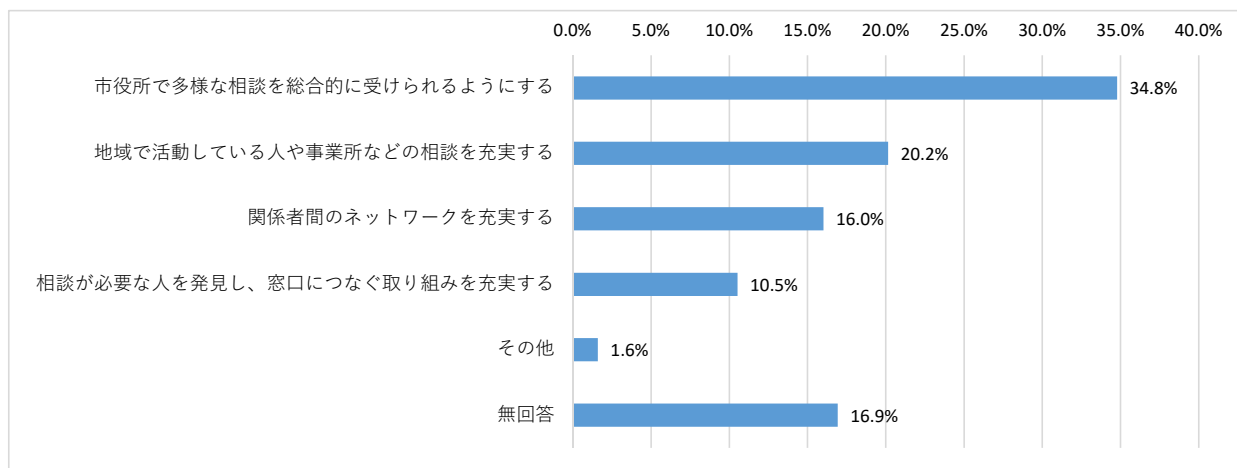
東地域	43	11.6%	23.3%	23.3%	9.3%	14.0%	20.9%	7.0%	25.6%
鉄南地域	38	18.4%	18.4%	13.2%	10.5%	15.8%	15.8%	13.2%	26.3%
西地域	81	11.1%	17.3%	11.1%	7.4%	14.8%	18.5%	9.9%	29.6%
川北地域	52	11.5%	19.2%	15.4%	5.8%	19.2%	17.3%	3.8%	25.0%
広陽・若葉地域	42	4.8%	16.7%	11.9%	2.4%	7.1%	35.7%	7.1%	26.2%
西帯広・開西地域	58	12.1%	24.1%	19.0%	12.1%	17.2%	13.8%	3.4%	19.0%
南地域	95	16.8%	14.7%	16.8%	6.3%	16.8%	16.8%	8.4%	27.4%
川西・大正地域	23	8.7%	26.1%	17.4%	26.1%	8.7%	13.0%	13.0%	26.1%
無回答	5	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%

【まとめ】

「こども食堂や地域食堂」が18.8%と一番多く、また「ひと暮らし高齢者宅などの冬期間の家の前の除雪や草取り」など自らボランティア活動をしたいと思われる人が一定数いる結果となった。

帯広市の相談支援体制の充実について

【問36】近年、様々な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められていますが、相談支援体制を充実するうえで、どのような取り組みに最も力を入れるべきだと思いますか。
(1つだけに○)



【まとめ】

「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が34.8%と一番多く、次いで「地域で活動している人や事業所などの相談を充実する」となっており、相談しやすい体制づくりに力を入れることを望まれていることが伺われた。

【問 3 7】誰もが住みやすい地域づくりを進めていくため、地域福祉に関するご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

高齢者について

30～39歳	広陽・若葉地域	将来グループホームでの生活を考えているので、地域のグループホームが詳細にわかりやすく見れるホームページや冊子等がもう少しあってほしいと思います。
30～39歳	川西・大正地域	母が体が不自由なので色々なサービスを活用させてもらっています。ごみ捨てに關してのサービスは本当に助かっています。タクシーを使うこともよくあるのですが、年間のタクシー利用券だと少し足りないようです。自分で移動が難しいので送迎サービスが充実してもらえるとより生活が楽しくなるように思います。
40～49歳	川北地域	認知症になっても、無料か安い金額（高齢者でも支払える金額）で誰でもが入れる施設があるといいなと思います。老老介護をしなくてもいい世の中になるといいなと思います。結局は、施設に入居するにはお金のある人しか入れない。将来がすごく不安で心配です。歳で働けなくなつてからの収入、年金はどのくらい入るのか等わからない事もいっぱい。今フルタイムで働いていても、すごく余裕のある訳ではないので、無職になってからが不安。そういう事を自然と知る事が出来る何か方法があればいいのと思います。自分から相談しに行くばかりでなく、この様な場合は、ここへ相談するとよい等の書類等が自動的に定期的に案内が来るとか。（まだ元気に働けている年齢なので、その様な事がすでになされているかもしれないですが）そのような事もわかりません。地域福祉だけでは、どうしようもない事です。
50～59歳	西地域	母が突然認知症になり、1人で生活出来なくなり、市役所やケアマネに相談したが何も力にもなってくれなく、どここの施設にも入れなく大変な思いをした。本当に困ってても何もしてくれなく、役所やケアマネにはうんざりした。払ってる税金や介護保険は何に使われてるのか。1部の人だけ安く特養とか入れて不公平だと思う。
50～59歳	広陽・若葉地域	必要な人達だけ知るのではなく、市民全体が常識のように制度や事業・場所など知るように広報する必要があると思います。知らない、調べられない、聞いたこともないという市民が減れば地域福祉は根付くと思います。
50～59歳	南地域	市の職員ばかりではなく、民間で働く人（例）老人施設で働いている方々。人が足りないのは重労働で賃金が安いからなのではないかと思います。その辺の支援も、必要なのかと…老人が多くなる中、考えないと大変です。
60～69歳	東地域	生活の中でパソコン、ネット等が必須な現在、操作、使い方を簡易的に相談、解決してくれるシニアの為の窓口を市役所に設けて頂きたい。東京にいたころは、サポート等してくれるNPO団体が存在していたので悩み等は無かったが帯広に住んでは、不安を強く感じる。 ※市のパソコン教室内容とは違います。シニアの実生活を心身に置換えて考えてみて下さい。
70～79歳	鉄南地域	高齢社会における社会体制のあり方、を検討してほしい。保護体制の構築も大事ではあるが、人材として社会に受け入れられ世の中に役立っている自負心をもって過ごせるような仕組が必要ではないかと思う。高齢でも元気である人達は仕事（生きがい）が出来る環境を整えることも必要では。
70～79歳	鉄南地域	いつも、大変お世話になっております。無料バスの御陰様で、毎日楽しく過ごしています。これからもどうぞよろしくお願い致します。
70～79歳	西地域	高齢者が多いこの頃低所得者が住みやすい施設とかホームが沢山出来て欲しいです。この思いをしている人は沢山いると思います。どうか市長さん宜しく御願いします。
70～79歳	西地域	独居老人を見守ってくれる人はいるが、その人も老人…深い話は出来なくて結局自分で思いついてどこか相談にいかなければ…と思いますが…
70～79歳	南地域	地域の中で高齢の方でも気軽に集まる事の出来る場所が必要だと思います。例として、コミセン・会館を使用する場合、会場の使用料が必要で、ある程度の人数を集めないと、個人負担金が大です。年齢が65才以上の方には、使用料の支援がある等、など実感しています。
70～79歳	南地域	高齢者も住みやすい地域のためにも買い物難民をなくすため、近くに食品等の取扱いスーパーの充実をしてほしい。
80歳以上	東地域	東区は高齢化が（自分も含め）進んでいます。これからが心配です。

80歳以上	西地域	1人住まいの高齢者が多いのはわかりますが80過ぎの高齢者全員に（希望者）緊急ベルの設置を希望したいです。不安も有りこの年令位から体調変化が出る頃ですので安心の為に設置を望みます。帯広市福祉課での検討よろしくお願い致します。
80歳以上	西帯広・開西地域	コロナ前は町内会で、色々な行事もあり、町内会の仲間で、同好会等で、有意義な時間を過ごしてきましたが、今は皆高齢になり、自身も主人を亡くなり、今迄交流があった方も病院通いの方が続き、町内会も成り立たなくなっています。これから介護のお世話になる身ですので訪問介護、介護施設等を利用した場合の具体的な内容を知りたいです。
80歳以上	南地域	地域包括支援センターによる、要介護者の巡回訪問相談を充実させる。

子育てについて

20～29歳	南地域	現在妊娠中で入籍するにあたって住まいを探しているのですが、そんな中、子育て支援住宅というものを知りました。妊娠発覚にともないアルバイトをやめ、婚約者の収入の範囲で探していたためとても魅力的でしたが、収入の面で少し超えてしまい断念することになりました。そのことから、現在の帯広の賃金の水準と、支援のギャップを感じたので何か対策していただけたらと思います。最近の物価高や安くはない納税で、支援対象内の方でも、子育て支援住宅には手が出ないことも容易に考えられるのでどうかお願い申し上げます。
20～29歳	川西・大正地域	帯広は、子供が遊ぶ室内遊び場がなさすぎる。夏は公園でいいけど雨、冬はほんとに遊ぶところがなく不便！！大きな室内遊び場作ってほしい。ほかの地域を見に行くべき！！十勝外！！
30～39歳	川北地域	・近隣の町村は高齢化の一途で、一次産業も陰りをみせてる。 ・せっかく大学まで教育機関があり、大型の厚生病院も揃っているのに、子連れで利用できる商業施設や遊戯施設、経済的支援が少なすぎる。 ・大した観光資源もない明石市が財政回復したのは子育て支援によるもの。 ・子育て世代を誘致する事によって、近隣の町村とまとまって十勝全体の人口増に取り組むべき。
40～49歳	鉄南地域	子育て世代として、現在の物価高で色々な面で家計を圧迫（スケートレンタルや防寒具購入など）しているので、補助金などがあるとありがたいです。
40～49歳	西帯広・開西地域	子ども食堂に行くのがはずかしいという声を聞くので、そうならない、地域の居場所づくりが大切だと思うのと、帯広に子ども食堂が少ない。

見守り・支えあいについて

30～39歳	西地域	定期的に近所での困り事等を聞いて回る役目の人を作る。
40～49歳	川北地域	高齢者、生活困窮者でも犯罪を起こす人がいます。支援してあげたいと思っても、その人がどのような人かわからないし、悪意ある人だと、自分が犯罪に巻き込まれ被害者になる不安があります。見ず知らずの人への支援はハードルが高いと思います。
50～59歳	南地域	高齢者の一人暮らしが、もしくは老々のふたり暮らしなどの方が、沢山いると思うのですが、地域で月いちなど元気ですか？とか、変わりはないですか？と、玄関先で数分会話する、みまもり隊のような事しているのでしょうか？多分、一人でどうしたらいいかわからない高齢者が沢山いるような気がします。

相談・支援について

40～49歳	西地域	2ヶ月に一度の地域食堂、「あったらいいねプロジェクト」で100食の弁当と、フードドライブの食材を民間ボランティアで運営し、困りごとをひろい、できうる限りの支援につなげています。シェルターも資金難でこのままでは存続できません。ふらっとや、生活支援課、市からの最後の頼みの綱の運営が、行政支援も入らずセーフティーネットを一般のボランティアの支えだけでうけおっている現状を多くの人に知っていただき、サポートしてもらえることを願っています。コロナ禍の後、確実にフェーズが変わりました。生活困窮や孤立は、深刻です。
50～59歳	鉄南地域	各施設や団体との横のつながりが必須。

50～59歳	西帯広・開西地域	母子家庭や、一人住まいなどの家に、時間や人手が足りないと言って、一件一件たずねたりするのを、おこたってはいけないと思う。それが仕事なんだから、何日、何ヶ月、何年かかっても、きちんと自宅にうかがうべきです。困ってる人だけじゃなく、入せきしてなくても同棲して母子家庭手当てもらい、ほぼ夫婦のような家もあると思う。（昔から）
50～59歳	南地域	1人1人の話を聞いて、今本当にお金のことや生活が出来るように、困ってる人に手を差しのべるのが一番必要な事だと思います。子供に対しても、学校に行けていない子に対して地域で何か、話をきいてあげて少しでも不安になってる事をなくしてあげる事、学校と地域の人が手を組んで考えて行くのではないのかと思います。
60～69歳	広陽・若葉地域	プライバシーに対する意識が強いため、地域でも困難をかかえている家庭の状況をとらえづらくなっている。こうした人たちにも行政や支援する人たちが手を差しのべることができる社会になればいいのになあ、と思います。
60～69歳	無回答	地域社会がもっと周知の意識を高くもって支援の手を差し伸べ、体制の強化を図っていく。
70～79歳	東地域	帯広にたくさんの支援制度がある事を知りませんでした。なぜ今まで知らなかったのか不思議です。もっと、身近なものに感じられるようにしてほしい。
70～79歳	鉄南地域	何かあった時すぐに相談できる場所を、広報などでわかりやすく、もっとアピールしてほしいです。家に貼るステッカーなどでもあればと思います。

町内会について

30～39歳	南地域	帯広は近所つき合いがほとんどなく、日常では楽ではあるが、有事の際に情報が回って来ず、孤立する人が出ると思う。町内会も若い人が入りやすくする必要がある。（老人用のイベント行事、集会ばかりで入るメリットがないのが問題だと思う）年配の人達を大切にする事も大事かもしれませんが、もっと未来の事を考えていくべきだと思う。
40～49歳	広陽・若葉地域	町内会のシステムを、今の社会にあわせてかえていくべき。高齢ばかりで、メリットを感じない。入らなければ悪く言われ、住みにくくなっている人も居ることを、わかってほしい。若くても共働き、土日仕事で対応できない家族もいる。
70～79歳	西地域	各町内会も高齢化して来て、廃止する町内が増えて来ているとか？私の町内会も新しい人は入会しなくて、班長も家の週の番で班長になっても町内会費を集めたり配布物をしたり出来なくなって脱会すると言う人もいます。現状として次は私の番になって、自分も自信がなくなってしまうのか？と...
70～79歳	南地域	高齢者が多くなった町内では、個々の悩みを話し合える場を作るのがむずかしいと感じています。特に療養中の家族を持つと、そのことを素直に話題にできないし、気軽にあいさつもできない気がします。コロナ禍を経て行事も遠のき気軽に交わる機会も少なくなり、まずは町内会を少しでも盛り上げて、楽しいものにしていくことが先決だと思います。

除雪について

60～69歳	西帯広・開西地域	老人が増加する中で一番の問題は、除雪です。近年は降雪量も多く雪質も重たいです。とりも老人ばかりです。若者は仕事をしている為、時間が無く、近所の除雪を手伝うのは無理です。大雪が降った時、ひまな若者をさがすとなれば自衛隊しかいませんが、何とか人手を借りませんか、宜しくお願いします。切実な老人の願いです。
70～79歳	西地域	これから雪が多く成ります。除雪が毎年言われていますが、車の運転する時に前が見えなくて困ります。もう少しきれいに除雪をお願い致します。
70～79歳	南地域	町内では今年になって5名の方が亡くなって1人は孤独死がありました。町内も高齢者が多く70代は若い方です。自分もそれなりに動く事ができる今日冬に近づき近所の除雪も多少なりにしてします。ショベルなどがあればなあ～と思います。
70～79歳	川西・大正地域	私共、後期高齢者となっている現在、自分の生活で精いっぱいです。冬期間の家の前の除雪、草取りをボランティアでやって頂く事が出来れば最高にありがたいです。高齢者が多く、それを支える人材不足で、介護施設、介護士、病院の看護師、は大変だと思います。
80歳以上	鉄南地域	冬の除雪について道路はもちろんですが歩道の方もすみやかにして貰えれば有難いと思います。

社協関係

40～49歳	西地域	帯広市社会福祉協議会が行っている事業を全く知らなかった。自分が必要としない情報として届いてこない。
60～69歳	東地域	以前、本当に生活に困っていた頃、社会福祉協議会に、お金を貸してほしいとの相談に行きましたが、全く無理な条件と、馬鹿にされた対応と思わざる得ないような対応を受けました。
60～69歳	西帯広・開西地域	地域交流サロン事業ですが、とても良い案だと思いますが、市内を良く散歩などしながら良く目にしますが、人が集まっているのをほとんど見かけません。時間的に昼～13時が多い。暗くて入りづらい、カーテンが重く、中で何をしてるのか？疑問です。知り合いの方で利用されてる方はいますが、お茶を飲み、軽食おにぎりを食べたりとの話を聞きます。明るく開放的なイメージであればどうでしょうか…。

その他

30～39歳	東地域	・定年退職した人たちがお金をうまくないので、お金をうむ（お金をまわるようにする）仕組みをつくって、市の資金が増えるようなシステムを考えてほしい。 ・アンケートの用紙も経費なので、若者はQRやネット回答を中心とした方法にしてほしい。
30～39歳	広陽・若葉地域	時代に合わせた変化は必要だが、具体的なことはわかりません。
30～39歳	川西・大正地域	このようなアンケートをとって何か役に立つのか？疑問です。時間や経費をかけるのであれば住みやすい地域に少しでもしてほしい。
40～49歳	鉄南地域	誰もがというのは今の時代無理があると思う。地域住民それぞれが、我慢できる範囲で生活をしていかなければ、要求が過大なばかりが優遇されていくのではないかな。
40～49歳	鉄南地域	まだまだ、活動等わからないことや知らない事が多いと感じました。
40～49歳	西地域	市長の顔色を伺うだけでなく、ちゃんと税金に見合った働きをしてください。低所得者向けの施策が多い。一般住民も生活は楽ではない。北斗市のように、中学校の制服を無償化する等、他自治体を見習って欲しい。
40～49歳	西地域	障害单身世帯で生保を受けています。生保を受けていると、市の暖房代給付金を受け取れないので、受けれるようにしてほしいです。満額じゃなくても半額でも助かります。灯油が高いです。
40～49歳	川北地域	アンケートに答えてみて、高齢者にはつながりが必要で、子供達には予算付けが必要な気がしました。高齢者といえども大人なので、できるだけ自分達で何とかしてもらい（極端に言うとも、命に関わるような案件であっても）、その分、これからの世代が前向きな気持ちで生きられるような社会であって欲しいと思います。
40～49歳	南地域	40歳半ばあたりから上と、その下とは、感覚がちがうと思います。問36にも書いた通り、老人のための動き・対策ばかりでは、今後長く地域づくりはすすまないと思います。
40～49歳	南地域	他県で部屋を借りると家賃に町費（町内会費）が含まれ、貸主によって1000円～600円程度徴収される地域がある。帯広市も町内会加入が減って困っているのなら一律で月500円町内会加入者は今まで通り月400円で徴収してはどうか？100円の差を作れば加入者も増加が見込め非加入でも支払う事で加入者が今まで不満に感じていた諸々が解消されるのではないかな？ ・夫がいるのに母子家庭のふりをしている人 ・自営業にして働かず子どもを保育所に入れている人 ・生活保護で車をこっそり所有している人 ・働けるのに生活保護を受けている人 ・医療費負担0円を利用して大量の薬を近所に配っている人 以上の人が多すぎる。皆知っていて何も言わないのはおかしすぎる。他課との連携を強め、ばれなければいいと思っている自分勝手な人たちに使うお金を福祉に回すことができれば帯広市の福祉はもっと良くなり人口増加にもつながると思う。単なるアンケートで終わるか施策となって市を変えるか、期待しております。
50～59歳	東地域	まだ、自分が必要を感じないので、何も浮かばない。定年になり、歳をとったときに、日々を充実して過ごせるサークルや、活動を帯広市がやってくれとありがたい。地方に比べると、帯広市に身近なところに、老年者が参加できる何かが、あまりない気がする。
50～59歳	川北地域	困った時や、防犯カメラの復旧など地域の安全の取り組みを普段から万全にして生活して行きたいです。

50～59歳	川北地域	市役所に電話、または訪問した際に担当した方によって対応に差があると思います。とても親切な方、明らかにめんどうそうな方と人によって差がありすぎです。わからないからたずねています。仕事なのですからしっかり対応して下さい。
50～59歳	西帯広・開西地域	精神の病を持つ家庭に誹謗中傷、騒音を立てるなど嫌がらせを繰り返す町内会役員が近隣にいます。役員の立場を利用して執拗に攻撃し弱者を更に追い詰めて楽しんでいるようなのですが、これが許容されているのは地域性なのでしょうか。
50～59歳	南地域	福祉課や社協の活動を知ってもらうために今回のアンケートは良い事だと思います。
60～69歳	東地域	誰もが平等なサービスを受けられるように、さまざまな告知があれば良いと思います。
60～69歳	鉄南地域	本当に困っている時、すぐに対応できるように。24時間いつでも。フリーダイヤルLINEなど SNSを活用できたら。知らないでしょう。今、とても困っている人が居ることも。
60～69歳	西地域	都会では、ケアマネ難民も居ると聞きますが帯広市は、その連携がスムーズに感じています。
60～69歳	広陽・若葉地域	日頃のご尽力に敬意を表します。更なる福祉の向上に努めて下さるようお願い致します。
60～69歳	西帯広・開西地域	高齢者・障害者などになってみないとわかりません。
70～79歳	鉄南地域	パークゴルフは老人にとって最高のスポーツだと思います。私や仲間の意見として申し上げます。 市内のパーク場は11月初旬に閉じられますがその後プレイするところがありません。研修センターのコースが唯一なのですが要望があります。①市内クローズ後、すぐに台をおきピンを正式の物にして下さい。開くならキチンとした物にすべきです。 ②たまに作業中の職員らしき人物をみかけ、コースについてアドバイスしますが耳を傾けないどころか非常に愛想が悪いです。我々、使用者の意見を聞かずに誰の考えで動いているのか不思議でなりません。
70～79歳	鉄南地域	何かあった時すぐに相談できる場所を、広報などでわかりやすく、もっとアピールしてほしいです。家に貼るステッカーなどでもあればと思います。
70～79歳	西地域	こうした調査はもちろんのこと、地域福祉職員の、地道な調査が必要だと思料する。調査表だけでなく、実際に訪問する、現状を調査・記録・議会での審議、帯広市独自の立法化により、他都市からも鏡とされる実績を挙げていただきたい。
70～79歳	西地域	これの何の意味があるんですか。何を言っても変わらないと思う。市役所の人は、本当にこまっけてもとてもつめたい。
70～79歳	西地域	一人暮らしになった時、地域の人達に声をかけてもらえ、町内で元気に暮らせる行政を希望する。
70～79歳	川北地域	十勝川河川敷の不法のゴミ捨てが多数あるので、収集に協力したいと思っている！市が収集用のゴミ袋、積載用のトラック、等の支援をお願いしたい。日時を決めて実施してくれれば、町内会等で収集には協力できる。ゴミの不法投棄が多過ぎます。
70～79歳	川北地域	自分が仕事を少しして、他の方の世話まで、できません。迷惑をかけない様一人一人頑張るしかないと思います。
70～79歳	広陽・若葉地域	近所付き合いなどしていますが生活困窮者などいるとの事は聞いた事などありません。何がおこるかわからない世の中自分で手助けできる事ある様なら少しでもお世話したいと思う76才です（世話好きばーさん）。
70～79歳	広陽・若葉地域	人に信頼される行為によって、人は自然に結ばれる。人と人をつなぐ常識を持てば、自然的な福祉である。
70～79歳	広陽・若葉地域	退職年齢引き上げにより、支援人材不足が生じている。町内会、サロン事業の全てに体制が整わなくなっている。活動したい気持ちは有るが、後期高齢になると近場でしか活動できない。支援対象者が望まないケースも有る。
70～79歳	西帯広・開西地域	高齢者が、免許返納した時無料で連れて行ってくれる（病院等）。食事のサービス。また、週一位で筋トレを近くでできる様な事。今は、トレーナーについて運動している。

70～79歳	西帯広・開西地域	ふるさと納税の営業をしっかりと、その税収分から子供家庭に給付する（1人当り月々5万円以上）。白糠町に、ふるさと納税の営業方法を学びに行って営業力を高める（15億円→150億円へ）。
70～79歳	南地域	健康面：病院との連携、エアコン購入補助 移動面：バス無料バスとタクシー券の選択
70～79歳	南地域	地域福祉に関してあまりにも無知無関心すぎて申し訳ありません。少しでも関心を持ち行動していく様心がけます。
80歳以上	東地域	町内会、隣り組について議員が質問しているが、戦前、国民を統制するために利用したこと忘れてます。市民の自治活動を先導して来た、2～3年前地教は他市町が強制しない、半旗を掲げる指示を出し、市民に強制するようになり。市民が行政に警鐘する機会を多くしてはどうですか。
80歳以上	東地域	帯広は雪がおおいので雪をきれいにかいてほしい。道路の道巾をきちんとしてもらいたい。何時も冬になるとそう思います。
80歳以上	東地域	東地域で生活してますが近くにスーパーが無く本当に不便です。
80歳以上	鉄南地域	米沢市長になりましてから、市役所も随分、変わられたと思います。昔の市役所は、ひどかったです。今威張りくさっている職員は、居ませんね。今年引越しましたので、何度も市役所に行きました。ほぼ皆様完璧でした。
80歳以上	西地域	市民から相談等があったらすばやく対応する事。
80歳以上	西地域	一人暮らしをして、体調が悪くなったとき24時間電話受け付けてくれるところはどこですか？救急車も、近所めいわくか？考えてしまいます。今回のアンケートを見て私は、何も知らないことに気が付きました。